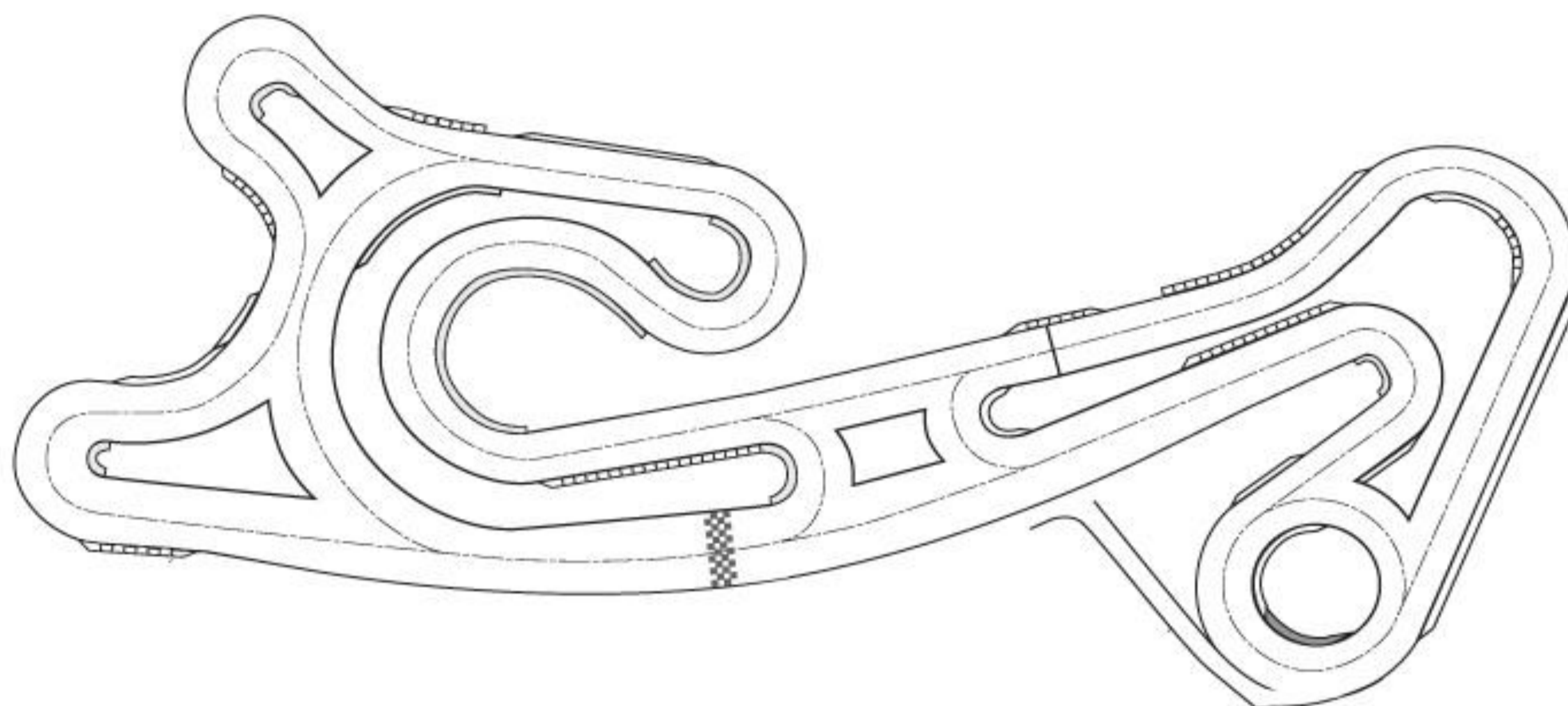


2017 RIDING SPORT CUP

MIHAMA SERIES

最終更新 2017/6/9

競技規則



第1章 大会開催に関する事項

第1条 主催者及び運営

- ・(株)美浜サーキット・クニモト
- ・美浜モータースポーツクラブ(MMSC)
〒470-3235
愛知県知多郡美浜町大字馬池野間字16
TEL0569-87-3003 FAX0569-87-3001

第2条 開催場所

- ・美浜サーキット・クニモト

第3条 開催日程

第1戦	5/28(日)
第2戦	7/16(日)
第3戦	10/1(日)

第4条 開催クラス

クラス	参加車両・対象
M	2st50cc未満、4st100cc未満ミッションノーマル車両
ミニモト・ミニモト(M仕様)	鈴鹿ミニモトST車証、またはリアサス交換車両(M使用車両)
SP	2st50cc未満、4st100cc未満一部改造ミッション車両 ※SP12、SP17、SP100、SS100混走、同一賞典
NSF100HRCTロフイー	NSF100ワンメイクレース
エンジョイ	フルコース51秒切れない方、初めてレースにでる方(M・SP・ミニモト・NSF100車両)
キッズクラス	2st/4st50ccのオフロード車両で10インチ以下(PW・CRF50等) PW50レンタル3台あり、レンタル料5,000円(税込み)
CBR250RFドリームカップ JP250	エキスパート(48秒以内で走行)エンジョイ(48秒以上で走行) JP250クラス車両
4st125cc以下	4stミッション付き125cc以下の車両
オープン	2stスクーター125cc以下、4stスクーター185cc以下 2stミッション100cc以下、4stミッション150cc以下 ※レーサー不可
ハイパーS8	2st85cc以下、4st170cc以下の車両、ハイパーミニ車両 ※レーサー可
FP4-ST	125ccノーマルスクーター準改造、一般公道用車両
モンキー	8インチホイールを採用するホンダ製のモンキー及びゴリラ(FI車可)
カブ	フロントサスペンションがボトムリンク式で遠心クラッチのホンダ製カブ
モタードクラス ※自己申告でのクラス分けです が基準タイムより速い方は	上級(美浜を48秒以内で走れる方) ※自己申告でのクラス分けです 中級(美浜を49秒から51秒台で走れる方) が基準タイムより速い方はクラス 初級(美浜を52秒台以上で走る方) 変更がある場合あり
HRC GROMカップ	GROMによるワンメイクレース
CBR250RRカップ	CBR250RRによるワンメイクレース

第5条 大会延期・中止及び変更に関する事項

大会主催者は大会委員会に
することが出来る。イベントの全部を中止した場合にはエントリーフィーは全額
返還されるが、天災地変の場合はこの限りではない。尚、参加者はこれによって
生じる損失について主催者に抗議することはできない。

第2章 競技会参加に関する事項

第6条 エントリー方法

参加申し込み書に必要事項を記入し、署名捺印の上参加費を添えて現金書留
振り込み、または直接事務局へ申し込みして下さい。
尚、未成年者の場合は親権者の署名・捺印が必要です。
エントリーは1カ月前より受付開始し、レース開催1週間前よりエントリー受付は事務手数料として
¥2,000頂戴いたします。

振り込み先
店番440 普通 0025134
三菱東京UFJ銀行 半田支店
口座名 株式会社 美浜サーキット・クニモト

第7条 参加資格

健康でかつレースに出場するのに相応しい良識的判断のできる者。
ミニバイク・ロードバイクでのサーキット走行経験者、負けず嫌い

第8条 エントリーの受理、ゼッケンについて

エントリーを受理したのものにはHP上のエントリーリストに表記します。HP上の表記を以って
エントリーの受理と致します、またエントリー受付後のエントリーフィーの返還は一切行わない。
ゼッケンはレース当日、受付にて配布致します。

第9条 エントリー費

通常エントリー ¥8,000 ※モタードクラス女性は3,000円offあり
Wエントリー ¥4,500 ※1クラス追加につきの金額、またキッズとのWエントリーは3,000円+
年間エントリー ¥21,000 ※キッズクラスは¥13,500
年間Wエントリー ¥41,000
キッズ ¥5,000 ※PW50レンタル料5,000円
※愛知・岐阜・三重県以外からエントリーされる方は¥2,000割引
モタード・キッズクラスは適用外となります。

第11条 ライダーの装備

- 1) レーシングスーツ、ブーツ、グローブは革製品とし、レーシングスーツはMFJ公認
のスーツが望ましい。
- 2) ヘルメットはMFJ公認のロードレース用が望ましく、ヘルメットリムーバーの着用を
強く推奨する。
- 3) いずれも、著しく損傷劣化しているものは使用不可とする。また背負い式脊椎パット
の着用を強く推奨します。
- 4) また、チェストプロテクターの着用も強く推奨します。

第12条 計測器(トランスポンダー)について
計測器(トランスポンダー)はレース当日朝、配布致します。必ず所定の位置に取り付けて下さい。紛失・破損(¥54,000)については参加者の負担となります。また計測器は練習走行から必ず取り付けて下さい。

第3章 競技に関する事項

第13条 コースレイアウト

フルコース

※モタードクラスは全戦3コーナー(ジャンプ台)あり

第14条 競技内容

- 1) 公式練習 10分
- 2) 公式予選 7分
- 3) 決勝レース① 10周 ※天候等により変更となる場合あり
- 決勝レース② 10周

※ウエット路面でのレース開催については主催者、競技長より随時ブリーフィングで説明される。

第15条 スタート

- 1) スタートは前方シグナルによるスタンディングスタートとする。決勝グリッドは予選の結果によって決定し、グリッドよりスタートできなかった者はピットスタートとする。予選同一タイムの場合はセカンドタイムで順位を決定し、グリッドについては4×4の配列とする。※モタードクラスは4×3のグリッドとする。
- 2) フライングをした者には、ゼッケンボードと黒旗を提示する。これを提示された者はピットインしなければならない。コース入口で一旦停止し、10秒後(コース入口で計測)レースに復帰することができる。
- 3) 予選においてタイム計測できなかった者の決勝グリッドは、最後尾または主催者が指定したグリッドとする。

第16条 レース終了

各レース1位の者がチェッカーフラッグを受けてから、2分間でレースを終了する。2分以内でチェッカーを受けない場合には、完走と認めず、リタイヤ扱いとする。
また完走者のみを入賞獲得の対象とする。完走者とは、トップ周回の60%以上を走行している者。

第17条 順位の決定

- 1) 順位の決定はチェッカーを受けた順によって決定する。コントロールラインを通過する時は、ライダーとマシンが一緒に通過しなければならない。(押し通過してもよい)
- 2) 順位は完走者の中から周回数が多い順に決定される。
- 3) 同一周回数の場合はコントロールラインの通過順による。

第18条 レースの成立

- 1) レースは規定周回数をトップが60%周回した時点で成立とする。60%を周回した場合の赤旗によるレース中断は、その前週の着順をもって成立とする。
- 2) 規定周回数の60%未満で赤旗によるレース中断となった場合は残り周回数で再スタートとする。グリッドについては当初のスターティンググリッドに戻ってレースを再スタートする。
- 3) 競技長が競技続行不能と判断した場合、中断の前週の順位をもってレース終了とする。

第19条 公式練習・公式予選及びレース中における規則

- 1) 公式練習・公式予選は正当と認められる理由がない限り、必ず出走しなければならない。また、出走が不可能な場合は大会事務局へ連絡しなければならない。
- 2) コースは常に先入者を優先とし、追い抜きをする者は前車の走行の妨害をしてはならず、また、前車は後車の進路を無理に妨害してはならない。
- 3) コースオフィシャルが、違反、妨害行為(プッシング・ブロッキング・その他のスポーツマンシップに反する行為)とみなした者にはペナルティーを科す。
- 4) いかなる場合においても、逆走してはならない。但しコースオフィシャルの指示がある場合は除く。
- 5) レース中、やむを得ずコースアウトした場合は除きコースを外れてショートカットする事は認められない。
- 6) 諸鬱をさけるためにコースアウトした場合は、その最も近い場所からコースに復帰しなければならない。
- 7) スタートを含めレース中にコース内に停止した車両の選手は、他の選手に動かないことをアピールし、それらが通過した後に安全な場所移動しなければならない。更に、自力で再発進できる場合のみレースに復帰できる。
- 8) 選手が修理のためにピットに向かう場合は、コースに沿ったグリーン上を周回方向にのみ車両を押し移動することができる。
- 9) コース上でリタイヤする選手はコース上の安全な場所に移動しレース終了まで待機すること。また、近くのコースオフィシャルにリタイヤの意思を伝えること。
- 10) ピットイン・ピットアウトは決められた場所で行うこと。ホワイトラインカットはペナルティー対象となる。
- 11) レース中にパドックに入った車両はレースを放棄したものとみなし、再びコースに入ることは許されない。
- 12) 参加選手の補助に関しては、コースオフィシャルのみが対応することができる。
- 13) レース進行中の大会役員、コースオフィシャルの裁定に対する抗議は受け付けない。
- 14) コース内では、いかなる場合でもライダー装備をすべて装着したままとする。

第20条 フラッグ

- 1) イエローフラッグの解除は、現場通過後の解除とする。
- 2) 技術的トラブルのある車両へはオレンジボール旗とゼッケンNoを提示するが、対象車両は速やかにピットインすること。
- 3) フラッグを無視したものに対しては厳重注意または、ペナルティーが科せられる。
- 4) コース上にグリップに影響を及び物質がある場合には、各ポストでイエローフラッグを提示する。

第4章 抗議に関する事項

- 第21条 抗議
抗議が出来る権利を持っているのはライダーのみであり、他者からの抗議は一切受け付けない。
競技に関することの判断はすべて競技長の解釈をもって最終判断とする。

第5章 賞典に関する事項

- 第22条 賞典
1) 決勝の結果により、ライダーに対して以下の賞典を行う。各クラス1位から3位まで
エントリーが5台未満の場合は1位のみの表彰とする。
※NSF100HRCTロフィークラスはGrクラスとJrクラスを別ポイント・別表彰とする。
- 第23条 1) レースポイント
レースポイントは1位=15 2位=12 3位=10 4位=9 5位=8 6位=7 7位=6 8位=5とします。
9位=4 10位=3 11位=2 12位以下は1ポイント付与。※完走者のみ
※モタードクラスポイントは別途ファントムさんシリーズ規定に準ずる。
- 第24条 2) 2レース合計ポイントで表彰、同一ポイントの場合は2レース目の順位を優先とします。
美浜シリーズ表彰
シリーズ3戦の合計ポイントでシリーズチャンピオンが決定
※エンジョイクラスは年間表彰はありません。
(1)同一ポイントの場合は、上位順位獲得数の多い者が上位となる。
(2)上記(1)で決定出来ない場合、最終戦成績結果(レース2)の上位順位の者を上位とする。
(3)上記(2)で決定出来ない場合、MFJ国内競技規則付1則14に記載方法によって決定する。

第6章 保険について

- 第25条 1) 2014年より全国のライディングスポーツカップ参加者がスポーツ安全保険に加入していただくことができるようになりました。
これはチームライディングスポーツが設立した任意団体「2輪モータースポーツ育成協会」が、「(財)スポーツ安全協会」が運営する「スポーツ安全保険」に団体加入し、登録競技者、イベント参加者の不慮の事故に対して補償するものです。
ライディングスポーツカップ参加者の方はこのスポーツ安全保険に入られることを強く推奨致します。
- 2) 保険責任期間
平成29年4月1日午前0時より平成29年3月31日午後12時まで
- 3) 料金
大人(高校生以上) 3,300円
(65歳以上) 2,650円
子供(※1参照) 2,250円
※1 平成28年3月31日に15歳以下の方
詳細につきましては別紙参照
- 5) 申し込み方法
本年よりWEB上より加入手続きを行ってください。
- 6) 適用サーキットについて
この保険はライディングスポーツカップ主催サーキットであれば加入また保険が適用されます。
よってサーキットごとに加入する必要はありません。

第5章 その他の事項

- 第26条 バドックエリア及び駐車場の利用について
美浜サーキットバドック・駐車場使用における場所取りを行なう場合、トランポ等を置いて場所を取ることは構わないが、タイヤ等を置いて過度に他の参加者も利用する場所を取ることは禁止致します。また、レース後に使用したタイヤはサーキットでは処分できません。
持ち帰っていただきます様お願い致します。
車中泊をすることは可能ですが、22:00以降スタッフはおりません。各自の責任において宿泊するようにして下さい。
廃油はサーキット指定の廃油缶に処分して下さい。
- 第27条
- 第28条 管理棟の利用について
管理棟はレース前日夜空いておりますが、管理棟内での火気の使用は禁止致します。
また缶・ペットボトル以外にでたゴミの処分は致しかねます。
ゴミはお持ち帰り下さい
- 第29条 その他
1) レース仕様車で、サーキット付近、一般公道を走行することを禁止する。
2) バドック・ピット内でのプレーキテスト・タイヤテスト等は禁止する。
3) ピット・バドックエリアは全面禁煙です、たばこを吸う場合は灰皿のある指定場所をご利用下さい。
4) サーキット内で発生したごみは、すべて持ち帰ること。
5) 廃タイヤの処分致します。1本250円
6) 施設内にタイヤを放置して帰ることは禁止する
- 第31条 主催者の権利
競技運営に伴う判断・決定の権利はすべて主催者にある。
また競技に関することの変更その他はすべてHP上で発表される。

車両規定

第32条

総合規定

- 1) ブレーキは前後独立したもので、それぞれ有効なブレーキを備えていること。
- 2) 保安部品、ミラー、スタンド、ナンバープレートはとりはずすこと。ライト、ウインカー、テールランプは取り外すか、テーピングを施すこと。
- 3) ハンドルは左右に一杯切った状態で、指を挟まないよう燃料タンク、カウル等に間隔を確保させること。
- 4) レバー類、ペダル類は安全上先端を丸くすること、またそれらの変更は可。
- 5) カウルなどを取り外した場合、そのステーは取り外すこと。その際フレームの加工は不要ステーの削除のみ可。
- 6) 同一型式以外でのエンジン・フレーム交換は認めない。但し、NSR50⇔NSRmini NS50R⇔NS50Fは互換性を認め全ての部品の組み合わせが可。但しエンジンの基本性能に変化の生じる組み合わせは不可)
- 7) 取り外さなければならない物は、バックミラー、スタンド類、フロントバスケット、リアキャリア等、またヘッドライト、テールランプウインカー等は取り外すか、テーピングを施さなければならない。
- 8) オイルドレンボルト(エンジンオイル、ミッションオイル)、給油口はステンレスワイヤーを用いワイヤーロックをすること。
- 9) 燃料タンクにブリーザーパイプを取り付ける場合は、キャッチタンクを取り付けること。
- 10) オイルキャッチタンク、燃料キャッチタンクは、走行前に必ず空にしておくこと。
- 11) 車両の音量が極端に大きな車両は失格とする場合がある。最終判断は競技長の見解に委ねる。
- 12) ラジエーターを装着している全ての車両はリザーブタンクまたはキャッチタンクを取り付けること。
なお、サーモスタッドは取り外し可能。
- 13) キャブレターからのオーバーフローパイプには、キャッチタンクを取り付けること。
タイヤは一般市販タイヤ(競技用を除く)を使用すること、レインタイヤについては一般市販タイヤ及び競技用タイヤのどちらでも可。
- 14) F/Rアスクルシャフトの固定はロックナットまたは割リピンを使用すること。アスクルシャフト及びスイングアームピボットボルトにアルミ・チタン・マグネシウムを用いることを禁止する。
- 15) 4stミッション車両は万が一のエンジントラブル時を想定し、エンジンオイル総量を受け止めることができる容量と形状を確保したアンダーカウルを装着すること。
- 16) 全てのチェーン駆動車両に関してフロント、リアスプロケットの両方に、チェーンカバーを装着すること。ただし、リアフェンダーがチェーンカバーの機能を完全に満たしている場合は取り外し可。
- 17) チェーンとスプロケットの噛合部にリア(ドリブン)スプロケットガードの装着を必須とする。
- 18) レース後車両に懷疑が生じた場合、車両の分解車検を行なうことがある。

クラス規定

- ・M 関東ロードミニ選手権Mクラス車両規定に準ずる車両。
- ・エンジョイ 特に車両制限は設けないが、危険と判断される改造は不可とする。
※但し決勝中基準タイム(51秒)を切った場合、クリアした周回分タイムを三秒加算する。
- ・SP 関東ロードミニ選手権SP12・SP17・SS100車両規定に準ずる車両。
(SP12・SP17・SS100クラス混走、同一賞典)
- ・NSF100 2017NSF100 HRCTロフィー車両規則に準ずる車両。
- ・ミニモト 2017鈴鹿ミニモト車両規則に準ずる車両。またリアサスの交換は可とする。
- ・ハイパーS8 美浜ライディングスポーツカップ基本規則に準じた、2サイクルで85cc以下、4サイクルで170cc以下の車両(4st車両はアンダーカウルを装着すること。) であれば改造は自由、タイヤはスリックを含み自由
ハイパーミニクラス車両
※レーサーOK
- ・美浜オープンクラス 2stスクーター125cc以下、4stスクーター185cc以下、2stスクーターミッション100cc以下
4stスクーター150cc以下の車両でモトチャンプ杯オープンクラス規定に準ずる車両。
※レーサー不可
- ・キッズ 関東ロードミニ選手権キッズクラス車両規定に準ずる車両。
- ・CBR250Rドリーム CUP 2017 CBR250Rドリーム CUPレギュレーションの準ずる車両。
- ・CBR250RR CUP 2017 CBR250RR CUPレギュレーションの準ずる車両。
- ・4st125cc以下 関東ロードミニ選手権インポートミニクラスに準ずるミッション付き4st125cc以内の車両。
NSF100(マフラー交換可)。
.
- ・FP4-ST モトチャンプ杯FP4-STクラス規定に準ずる車両。
- ・JP250 2017 MFJ国内競技規則 付則11 JP250技術仕様に基本準ずる。使用するタイヤメーカーは自由とする。
- ・モンキー 変更取り外し改造が可能なもの
・マフラー・ピストン・タイヤ・ハンドルバー、グリップ・ブレーキレバー、クラッチレバー・ペダル
・プラグ、プラグキャップ・プラグコード・スプロケ、チェーン・フロントサススプリング・リアサスペンション
・ホイール・ブレーキシュー・CDI・キャブレター、ジェット・エアクリーナー・スイングアームの変更、但しノーマル比6mm長まで。アルミ製可・ハーネス及び電気系の加工及び削除・ステップの変更
カムシャフト及びカムスプロケ・バルブスプリング、ロッカーアーム・ガスケット(面研不可)
バッテリー、ホーン取り外し・走行性能にに影響のない変更
上記以外の変更は不可。
- ・カブ スイングアームの変更は不可、レッグシールドの加工は可。
その他は上記モンキーと同じ。
- ・モタード 排気量は2st100cc以上、4st150以上のモトクロッサーおよびエンデューロレーサーバイク。
4ストロークエンジンでは最低200cc以上のオイルキャッチタンクを装着すること。
タイヤはレーシングスリックおよびレーシングレインタイヤの使用可。
ライト類、バックミラー、スタンド類、公道用ナンバープレートは取り外すこと。
その他は総合規定に準じていれば、この他の改造・変更は自由とするが、車検時に危険とみなされた車両は走行できない。ゼッケンについては事務局にて指定された番号を使用すること。
- ・HRC GROM カップ 2017 HRC GROMカップ車両規則に準ずる車両